

分類	よくある質問	回答
受診前・受診当日について	食事制限・水分制限などの検査前の注意事項はありますか？	胃の検査・腹部超音波検査がある方は前日の午後8時までには夕食をお取りください。検査当日は朝食を食べずにご来院をお願いします。
受診前・受診当日について	当日薬は飲んでいいですか？	血圧・てんかんの薬を服薬している方は、当日の朝6:30までにコップ1杯（200cc程度）の水または白湯でお飲みください。 糖尿病の薬を服薬している方は薬を服薬せずにお越しください。服薬については主治医にもご相談ください。
受診前・受診当日について	web問診がログインできなかったのですが。	システム会社に連絡し修正致しますので夕方以降にもう一度ログインをお願いいたします。
受診前・受診当日について	便が1本しか採れなかったのですがどうしたらいいですか？	当日は無理せず1本で差し支えありません。受診日から1週間以内にもう1本持参していただければ後日便として扱います。どうしても無理なら1本でもその結果をお知らせします。
受診前・受診当日について	診察券と保険証を忘れてしまったのですが人間ドックを受けられますか？	健保ごとに異なりますので受付にて確認させていただきます。
受診前・受診当日について	予定があり今日食事ができないのですが本日でないとだめですか？	可能です。事前予約しお食事券をお持ちください。
受診前・受診当日について	生理になりそうですが婦人科を早く受けることはできますか？	可能です。医療面接、薬剤確認後にご案内いたします。
受診前・受診当日について	人間ドックはどのくらい時間がかかりますか？	検査項目により異なりますのではっきりしたことは言えませんが3～4時間くらいを見ていただいております。
受診前・受診当日について	ATMはありますか？場所はどこですか？	黒沢病院1階の売店ブルークローバー近くにございます。受付に案内用紙がございます。
受診前・受診当日について	クレジットカード支払いはできますか？	ご本人様名義のカードであればご利用いただけます。
受診前・受診当日について	水分摂取できますか？	採血、腹部超音波、胃の検査が終了していれば可能です。胃の検査で飲食可能な時間が指示されていればその時間を確認してください。
受診後について	再検査・要治療の受診方法が分からないのですが。	再検査・要治療の指示がある方は外来受診のご案内をさせていただきます。

分類	よくある質問	回答
検査について	乳がん検診はどれくらいの頻度で受けたらいいですか？	日本では40歳以上の女性に対してマンモグラフィを含む2年に1回の検診が推奨されています。 定期検診を受けることで自覚症状がまったくないときでも、疑わしいものがあればチェックできるので有益です。
検査について	妊婦・授乳期の乳がん検診はどうすればよいでしょうか？	妊婦健診をされている先生にご相談されるか、その担当医から専門医を紹介してもらうことをお勧めします。 妊婦の乳腺は、非妊娠状態と異なっているために、診察、検査により病態を把握することは難しいものです。視診による血性乳汁分泌、触診による腫瘤触知は、病変の拾い上げに有効です。一方、画像検査ではマンモグラフィは適用できず、乳腺超音波検査でも相当熟練していないと診断は困難です。人間ドック施設で実施されても結構ですが、限界を感じる場合は妊婦検診をされている先生にご相談されるか、あるいは、その担当医から専門医を紹介してもらうことをお勧めします。
検査について	乳房を圧迫しないでマンモグラフィはできますか？	立体的で厚い乳房を正しく撮影するために、圧迫する必要があります。マンモグラフィ撮影では乳房を圧迫板ではさみます。この際に痛みを感じることがありますが、痛みのレベルは個人差があります。これは、診断に必要な良い写真を撮るためには、とても重要なのです。乳房は立体的で厚みもあり、そのまま撮影すると乳腺や脂肪、血管などの重なりで、実際に腫瘍があっても写し出されることがあります。また圧迫により、放射線の被曝量を少なくするという効果もあります。 正しい撮影をするために、撮影技師がポジショニングを行いますので、どうぞご協力をお願いいたします。また、圧迫板は一定以上の圧力はかけられないように設計されていますので、ご安心ください。ただし、痛みが強い方、皮膚や乳房に炎症や外傷があり圧迫出来ない方につきましては撮影を中止することがあります。
検査について	視触診のみの乳がん検診は有効ではないのですか？	視触診のみの乳がん検診では死亡率減少効果が表示されていないのでマンモグラフィと組み合わせて受診することをお勧めします。 当院では2021年4月より視触診のみの乳がん検診を廃止しました。
検査について	乳がん検診を受けて“要精査”という結果でした。症状がないので大丈夫だと思うのですが、受診したほうがよいのでしょうか？	乳がん検診で「異常あり」といわれた人は医療機関を受診してください。 検診で異常を指摘されても必ずしも乳がんというわけではありませんので、過度に心配することはありません。しかし、「異常なし」の人と比べるとがんの可能性は高いので、精密検査を受ける必要があります。 マンモグラフィの結果でどれくらいがんが疑われるかの指標として「カテゴリ分類」というものはあります。 カテゴリ1 異常なし カテゴリ2 良性病変のみ カテゴリ3 がんを否定できず（がんの確率は5～10％） カテゴリ4 がん疑い（がんの確率は30～50％） カテゴリ5 マンモグラフィ上はがん（がんの確率はほぼ100％）
検査について	MRIで検査するメリットはなんですか？	MRIは放射線被ばくが全くありません。当施設では「より人体への影響（侵襲）が少ない検査からはじめる」という医療安全リスクマネジメントの考えに基づき、MRI検査を採用しています。さらに、この腫瘍ドックでは造影剤も使用しませんのでより安全です。またMRIは小さいものが見えやすい（空間分解能が高い）ため、小さな病変に対する検出能が高く、これまで描出が難しかった肝臓・腎臓・膀胱などもより高い精度で検査することができます。ただし、MR拡散強調画像は悪性腫瘍だけに特異的ではなく、ひ臓・卵巣・リンパ節などの正常組織や、炎症・良性腫瘍なども高信号に描出されるため、拡散強調画像で異常を疑う場合でも、他の検査で正常と診断されることがあります。 当施設では診断精度を高めるため、MRI検査では拡散強調画像・T2強調画像・STIR画像（脂肪抑制T1強調画像）の3種類を撮像し、さらに超音波検査などを併用し、検査を行っています。
検査について	胸部レントゲン検査、肺CT検査、マンモグラフィ検査、バリウム検査等を受けることによって健康被害が発生することはありますか？	検査による健康被害の報告はありません。 放射線医学研究所 放射線被ばくの見込み表（※）もご参照ください。 ※放射線医学研究所 放射線被ばくの見込み表
検査について	胃X線検査に不安があります。	胃X線検査は受診される皆様のご協力によって成立する検査になります。 検査中、寝台の上で回転していただいたり体を動かしていただいたりします。その都度お声がけをしていきますので、ご安心ください。

分類	よくある質問	回答
検査について	胃X線検査で使うバリウムってどのようなものですか？	X線を吸収する粉末状のバリウム製剤を水に溶かして、検査の際に皆さまに飲んでいただいております。 味はつけられませんが、少しでも飲みやすいように、当センターではソーダの香りがする製品を採用しています。 少々とろみがあり、口の中でザラツとした感覚があります。
検査について	飲んだバリウムは体内に蓄積されますか？	検査を受けた後に処方される下剤を服用していただき、たくさん水分を取ることで便とともに排泄されます。検査を受けた日は、目安として500mlペットボトル2本分以上飲むようにしてください。白い便が出なくなるまでは、水分を意識して摂取してください。食事はいつも通りで問題ありません。 下剤を服用しても2日間バリウムが排泄されない場合、または持続する便秘、嘔気、腹痛、腹部膨満感などの症状が現れた場合には、すぐに当院あるいは近隣の医療機関へご相談下さい。
検査について	上部消化管内視鏡（胃カメラ）と胃透視 検査（バリウム）の違いは何ですか？	胃透視検査は発泡剤とバリウムを服用していただき、食道や胃の中を観察していきます。バリウムを胃粘膜に付着させ、胃潰瘍やがんによる粘膜の凹凸、慢性胃炎などの有無を確認することができます。 上部消化管内視鏡は、先端に小型カメラ（CCD）を内蔵した細長い管で食道・胃・十二指腸を直接観察することで、より正確な診断を行うことができます検査です。必要に応じて、胃粘膜の組織を採取して検査する病理組織検査も実施しております。
検査について	胸部レントゲン検査と肺CT検査との違いは何ですか？	胸部レントゲン検査は、胸部にX線を照射して、肺・心臓・両肺の間にある縦隔などの異常を調べる検査です。肺結核・肺炎などの肺の炎症、肺がん等の早期発見を目的とし、当院ではサブストラクション（経時的差分画像）をして診断能を高めています。肺CT検査は、胸部レントゲンだけでは発見できない5mm以下の早期の肺がんや、心臓、骨に隠れている肺がんを発見することが可能です。また、CTは「肺がん」の他、COPD（特に肺気腫症）やびまん性肺疾患等の診断にも非常に有効です。40歳を過ぎたら、年に1度肺CT検査をお勧めしております。
検査について	MRI検査はどういうものですか？	MRI検査は強力な磁石と電磁波を利用して体の臓器や血管を撮影する検査です。放射線を使用せず、精度の高い画像を撮影することができます。
検査について	脳ドックの検査を受ける頻度は？	厚労省の調査では40代から脳血管疾患の発生リスクが高くなります。異常がなくても3年に1回の検査をおすすめしております。
検査について	脾臓MRI（MRCP）はどんな検査ですか？	MRCP はMRI 検査の中での「水」の情報を強調して抜き出した撮影です。「水」の中でも特に胆汁や脾液を狙って情報を抜き出します。超音波では見えにくい胆管や脾臓の病気の発見に威力を発揮します。特に脾臓がんになる前のIPMN（脾管内乳頭粘液性腫瘍）を早期発見できる大事な検査になります。
ヴァレオプロ利用について	1泊ドックではお風呂にはいれますか？	個室でもご入浴が可能です。また2Fヴァレオプロにて天然かけ流し温泉もご利用いただけます。（休館日が第1金曜日、第3金曜日となっておりますので、ご注意ください。※設備点検等で変更になることあり）
ヴァレオプロ利用について	お風呂は何時まで入れますか？	月曜日～金曜日 9：25-22：30 土曜日 9：25-21：00 日曜日 9：25-19：00 ※最終チェックイン時間は、閉館の30分前までです。
ヴァレオプロ利用について	お風呂にはサウナはありますか？	サウナもご利用いただけます。
ヴァレオプロ利用について	お風呂には無料のタオル等がありますか？	無料タオルを設置しております。 シャンプー・リンス・ボディークリーム・化粧水・乳液などもございます。
ヴァレオプロ利用について	1泊ドックでは自由時間に、フィットネスジムで運動ができますか？	1泊ドックをご利用のお客様は無料でフィットネスジムもご利用いただけます。シューズに関しては、無料レンタルもご用意しておりますが、履きなれたシューズをご自宅からお持ちになることをお勧めしております。
ヴァレオプロ利用について	ドック受診後にいただけるヴァレオプロ利用チケットには有効期限はありますか？	有効期限はございません。